

報道関係者各位

2019年7月18日
シュナイダーエレクトリック

シュナイダーエレクトリック、常時インバーターUPS「APC Smart-UPS SRT」シリーズに新たに 1000VA 容量帯モデルを追加

- 最大 10 台の拡張バッテリーの接続により、長時間バックアップが可能
- グリーンモード搭載により、95%を超える高効率での稼働を実現
- 最長 7 年間の保証も選択可能に

エネルギー・マネジメントおよびオートメーションにおけるデジタルトランスフォーメーションのリーダーであるシュナイダーエレクトリックは、UPS（無停電電源装置）のリーディングブランド「APC by Schneider Electric」から、常時インバーター*1UPS「APC Smart-UPS SRT」シリーズの新たな容量帯モデルとして 1000VA 対応の「APC Smart-UPS SRT 1000VA 100V」を発売します。受注開始は、8 月 19 日を予定しています。

UPS は、突然の停電などの電源障害時に、サーバーなど接続されている機器に一定時間電力を供給する製品です。常時インバーターUPS「APC Smart-UPS SRT」シリーズは、無瞬断でクリーンな正弦波を負荷機器に供給し、最大 10 台の拡張バッテリーを接続でき、保護する機器にあわせた長時間のバックアップが可能です。今回発売する 1000VA モデルは、サーバールーム、ネットワークラック、エッジコンピューティングの電源保護に適しており、ヘルスケア、小売、金融から製造、さらには産業オートメーションまで、さまざまな分野で使用できます。電力コストと CO2 排出量を削減するグリーンモード*2 を搭載し、その機能を利用すると、装置内部で発生する消費電力や熱を抑えて 95% をを超える高効率を達成します。また、マルチ入出力(100V/110V/115V/120V)にも対応しました。

UPS と保守サービスが一体となった「保守付きモデル」では、3 年間保守、5 年間保守に加え、バッテリーの予防交換が 1 回付いた「7 年間保守付きモデル」も提供します。バッテリー交換時の追加費用や、修理などに伴う突然の出費などを考慮せず購入時にメンテナンスコストを含めた金額を算出可能です。

「APC Smart-UPS SRT 1000VA 100V」製品情報

【仕様】

製品名	APC Smart-UPS SRT 1000VA 100V
製品型番	SRT1000XLJ
運転方式	常時インバーター
定格入力電圧	AC100V/110V/115V/120V 単相
最大出力容量	1000VA / 900W
バッテリー期待寿命	約 5 年 (周囲温度 25℃)
質量	約 24kg

報道関係からのお問合せ先

シュナイダーエレクトリック

広報担当：金光真弓（かなみつまゆみ）

住所：東京都港区芝浦二丁目 15-6 オア-ゼ芝浦 MJビル

TEL：080-3022-3067

Email：Mayumi.Kanamitsu@se.com

外形寸法 高さ×幅×奥行 (mm)	85 × 432 × 505 (ラックマウント搭載時)
使用環境	最大高度 3,000 メートル、湿度 0～95%、温度 0～40℃ (結露なきこと)

【主な特徴】

- 最大 10 台拡張バッテリー接続可能で長時間バックアップ
- 1 台でタワー、ラックマウントの設置環境に適合 (ラック搭載時には別売のレールキットが必要です。)
- UPS の状態を色とアイコンで表示し、日本語を含む 8 ヶ国語に対応したユーザーフレンドリーな LCD マルチカラーディスプレイ
- グループ毎に出力コンセントの on/off が可能なグループコンセント機能
- 電源管理ソフトウェア(別売)対応で、電源トラブル時に接続されたサーバーなどを安全にシャットダウン
 - PowerChute Business Edition (v10.0 以降)
 - PowerChute Network Shutdown (v4.3 以降, 要ネットワークマネジメントカード)

○製品カタログ URL

<http://catalog.clubapc.jp/pdf/ups/srt1000xli.pdf>

○製品についてのお問い合わせ先

カスタマーケアセンター TEL:0570-056-800

*1 常時インバーター方式は、電源障害時に電力供給の遮断が発生しない給電方式です。回路に、コンバーターとインバーターの 2 つの回路が存在し、通常稼働時は AC (交流電流) をコンバーター経由で DC (直流電流) に変換し、再度インバーターを介して AC に変換してから負荷機器に電力を供給します。また、2 つの回路間にはバッテリーが存在し、常に充電、通電しているため、電源障害時に、バッテリーからの出力に切り替わる際も、切り替え時間による遮断が発生しません。

*2 バッテリーの充電状態および入力電源の状態が良好な場合には、インバーター回路をバイパスします。電力変換部の消費電力や発熱を抑え、電力コストと CO2 排出量を削減できます。

Schneider Electricについて

シュナイダーエレクトリックは、全ての人がエネルギーとデジタルにアクセスできる環境を提供したいと考えています。少ない労力で最大限の効果を得る「Do more with less」により、いつでも、どこでも、だれにでも「Life Is On」を実現します。

世界をリードするエネルギー技術、リアルタイムオートメーション、ソフトウェアとサービスを「ビル、データセンター、電力インフラ、工場」向けに統合し、効率化と持続性を可能にするエネルギーとオートメーションのデジタルソリューションを提供しています。

私たちは、意義深い目標と包括的で実行力を伴う価値観をもって、オープン、グローバル、そして革新的なコミュニティの発展に尽力します。

www.se.com/jp

Discover Life Is On

Discover EcoStruxure

Follow us on:

**報道関係からのお問合せ先**

シュナイダーエレクトリック

広報担当：金光真弓（かなみつまゆみ）

住所：東京都港区芝浦二丁目 15-6 オア-ゼ芝浦 MJビル

TEL：080-3022-3067

Email：Mayumi.Kanamitsu@se.com